

濱田特殊硝子株式会社

2024年度 環境経営レポート

(対象期間:2024年1月～2024年12月)



作成日：2025年1月27日

□ごあいさつ

濱田特殊硝子株式会社は、大正7年創業以来、特殊硝子の幅広い分野で産業発展に貢献してまいりました。
企業活動において効率化を図り、利益を追求することだけではなく、事業活動において環境に与える影響は多大であると考え、EA21経営環境システムを導入「住みよい地球」「優しい地球」を合言葉に、環境調和を企業として取り組んでまいります。
今回、弊社の取り組み結果を、環境経営レポートとして取りまとめましたので、ご高覧頂ければ幸いです。

環境経営方針

制定 2007年7月1日

改定 2020年9月1日

【環境理念】

濱田特殊硝子株式会社は、次世代の人類が住みよい環境にする為に、環境問題を最重要課題として認識し、継続的な環境負荷の削減を目指し、全従業員で環境保全活動に取り組めます。

【行動指針】

1. 継続的成長の為に、環境保全活動に関する環境経営システムを整備し、継続的向上を目指します。
2. 事業活動について影響評価を行い、技術的に可能な範囲で環境目標を制定し、定期的に見直します。
3. 関連する法規制や基準を遵守し、自主規制を制定し環境汚染の防止と、予防に努めます。
4. 環境の負荷を出来るだけ減らし、循環を基本とする事業活動を目指し、下記の項目について重点的に取り組みます。
 - ① 一般廃棄物の減量化
 - ② ガラスカレットの確実な分別によるガラスのリサイクル化
 - ③ エネルギーの効率化及び省エネルギーによる二酸化炭素排出量削減
 - ④ 節水を心がけ、総排出量の低減
 - ⑤ エコドライブ10の実施
 - ⑥ グリーン購入の推進
 - ⑦ 複層・Low-E ガラス製品の推進
5. 全従業員及び当社の業務に従事する人々は、環境方針を理解し、全員参加で環境経営システムを推進する。

濱田特殊硝子株式会社

代表取締役社長 濱田 真輝 

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
濱田特殊硝子株式会社
代表取締役会長 濱田 真輝
- (2) 所在地
本社* 大阪府大阪市平野区平野西4丁目5番1号

*工場が本社と道を隔てて存在するが、実質的に同一サイトとして
事業活動、環境活動を行っている。
- (3) 環境管理責任者氏名
責任者 加工部主査 神田 幸生
- (4) 事業内容
特殊板硝子の加工販売、板硝子並びに建材の卸
- (5) 事業の規模
製品出荷額 (千円) 126,089

	本社	工場
従業員	15名	23名
延べ床面積	1151㎡	487㎡

- (6) 事業年度 2024年度

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名： 濱田特殊硝子株式会社
- 対象事業所： 本社
- 活動： 特殊板硝子の加工販売、板硝子並びに建材の卸

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素排出量(電力)	kg-CO2	246,269	226,132	214,820
廃棄物排出量				
一般廃棄物量排出量	トン	1.29	1.38	1.01
産業廃棄物排出量	トン	6.63	5.42	6.05
ガラスカレット(再利用)	トン	41.00	44.00	37.50
水使用量	m³	2681	3195	3078

※電力の二酸化炭素排出係数(オリックス電力21年調整後排出係数)：0.522kg-CO2/kWh

※産業廃棄物排出量は汚泥と廃プラスチックを
足した数値とする

□環境目標・実績

年 度 項 目		基準値 (基準年度)	2024年		2025年	2026年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素削減	kg-CO2 基準年比	204,883 2021年	200,785 98%	214,820 107%	198,737 97%	196,688 96%
都市ガスの二酸化炭素削減	kg-CO2 基準年比	185 2021年	179.45 97%	121 67%	178 96%	176 95%
自動車燃料の二酸化炭素削減	kg-CO2 基準年比	17,873 2021年	17,337 97%	15,355 89%	17,158 96%	16,979 95%
灯油の二酸化炭素削減	kg-CO2 基準年比	2,107 2021年	2,044 97%	1,658 81%	2,023 96%	2,002 95%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2 222,756	218,122	231,954	215,894	213,667
一般廃棄物の削減	kg 基準年比	864 2021年	847 98%	1,014 120%	847 98%	838 97%
ガラス屑の削減 *	kg 基準年比	38,250 2021年	37,485 98%	37,500 100%	37,485 98%	37,103 97%
汚泥(ガラス粉)の削減	kg 基準年比	5,591 2021年	5,479 98%	5,310 97%	5,479 98%	5,423 97%
産業廃棄物の削減 (廃プラスチック)	kg 基準年比	672 2021年	658.56 98%	605 92%	658.56 98%	651.84 97%
水道水の削減	m³ 基準年比	2,365 2021年	2,341 99%	3,078 131%	2,341 99%	2,318 98%

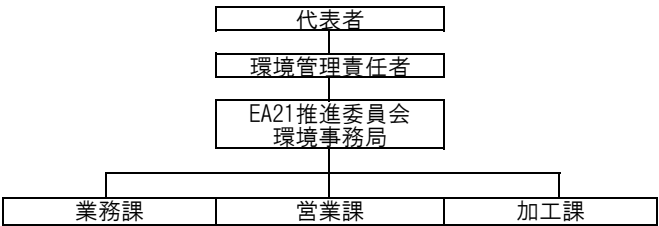
*ガラス屑：製造過程で発生する商品にならない端材

□環境活動計画と結果及びその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ままだきた △あまりできなかった ×全くできなかった

環境活動計画	結果	継続/変更	評価、次年度の取組内容
電力の二酸化炭素削減			
数値目標	-		
・空調温度の適正化	○	継続	今期を基準年のデータ取りとした。来期より-1%を目標に取り組む。
・不要照明の消灯	○	継続	
・生産工程の待機時間短縮	○	継続	
・工程ロス削減による稼働時間短縮	○	継続	
・クールビズ・ウォームビズの推進	○	継続	
・照明のLED化（工場）	○	継続	
・高効率エアコン導入（工場）	○	継続	
都市ガスによる二酸化炭素削減			
数値目標	○		
・給湯時、水の量に気を配る	○	継続	目標達成。
自動車燃料による二酸化炭素削減			
数値目標	○		
・アイドリングストップ	○	継続	目標達成。
・効率的なルートで配送	○	継続	
・急加速・急停止の防止	○	継続	
・カーエアコンの適正利用	○	継続	
・タイヤ空気圧チェック	○	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	×		
・分別の徹底	○	継続	外注品の梱包材の処分量が増加している。
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	△	継続	
・裏紙使用	○	継続	
・梱包材の再利用	○	継続	
汚泥の（がらみ）の削減			
数値目標	○		
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	継続	外注品が増加し数値目標は達成出来た。
・素材別ボックスの設置	○	継続	
産業廃棄物の削減（廃プラスチック）			
数値目標	○		
・社内使用PPバンドの再利用	○	継続	外注品が増加し数値目標は達成出来た。
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	継続	
・梱包材の再利用	○	継続	
・代替物質の検討	×		
水道水の削減			
数値目標	-		
・節水の呼びかけ	△	継続	今期を基準年のデータ取りとした。来期より-1%を目標に取り組む。
・節水弁の取り付け	○	継続	
・定期的に水漏れの点検	○	継続	
ガラスカレット			
数値目標	×		
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	継続	目標未達成だが、排出量は抑えられている。
・素材別ボックスの設置	○	継続	

実施体制及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能
	技術者を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知
	・環境目標・活況活動計画書の承認
	・代表者による全体の評価と見直しを実施
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築・実施・管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境目標・活況活動計画書を確認
	・環境活動の取り組み結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境目標・環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等の取りまとめ表の作成
	・環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成・公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
	・特定された項目の手順書作成及び運用管理
	・自部門の特定された緊急事態対応のための手順書作成し、試行・訓練を実施し記録を作成
	・自部門の問題点を発見・是正・予防措置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、汚泥、廃水銀）の委託基準 産業廃棄物の保管基準、マニフェスト管理、行政への報告
騒音規制法・振動規制法	空圧機の届け出
フロン排出抑制法	業務用空調機等の簡易点検の実施と記録・保存
自動車NoxPM法（大阪府条例）	自動車流入規制
グリーン購入法	環境物品の購入
消防法	消火器の設置

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

昨年は売上、粗利とも目標を達成でき、設備投資や採用においても予定通り実施することが出来た。新しい設備は電力消費も少なくなっていることが多く、今後も老朽設備の更新や自動化設備、産廃の排出を削減可能な設備の導入により環境活動を進めていく。

□環境活動の紹介

教育・訓練

2024年11月30日に教育・報告会・避難訓練を実施。手順書の見直しは必要なしでした。

次回の環境経営レポートは、2026年2月4日に提出致します。